

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E142F021		世界史演習 (Seminar in World History)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択	2	3	教育学部			氏名 甘利 弘樹 E-mail hiamari@oita-u.ac.jp 内線 7544											
授業の概要	世界史の中でも、特にアジア・アフリカ地域に関係するテーマに基づきつつ、受講生の発表とそれに対する討論を通して、世界史を考える際の基本姿勢を固める。また、将来のレポート及び論文の執筆を視野に入れ、文献をいかに収集し、読み、整理するかを検討し、さらに、受講生が世界史の授業を行うに当たり自らの考えをまとめる時の基本・応用を習得することを目指す。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	文献をまとめ、批評する方法を説明することができる。																
目標2	世界史研究の分野における未解決・未検討の諸問題を知り、それらを解決する方法を分析することができる。																
目標3	理路整然と首尾一貫した内容の発表・論文執筆ができるきっかけを創出することができる。																
目標4	模擬授業を実践することを通して、世界史の授業に必要なことを表現することができる。																
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1	ガイダンス																
2	世界史に関する発表のポイント																
3	東アジア史に関する発表と、それに対する討論																
4	東北アジア史・中央アジア史に関する発表と、それに対する討論																
5	南アジア史・東南アジア史に関する発表と、それに対する討論																
6	西アジア史に関する発表と、それに対する討論																
7	アフリカ史・オセアニア史に関する発表と、それに対する討論																
8	第3回授業～第7回授業における発表についてのまとめ・振り返り																
9	世界史に関する授業のポイント																
10	東アジア史に関する模擬授業と、それに対する討論																
11	東北アジア史・中央アジア史に関する模擬授業と、それに対する討論																
12	南アジア史・東南アジア史に関する模擬授業と、それに対する討論																
13	西アジア史に関する模擬授業と、それに対する討論																
14	アフリカ史・オセアニア史に関する模擬授業と、それに対する討論																
15	第10回授業～第14回授業における模擬授業についてのまとめ・振り返り																
ラ ー ク ニ テ ィ ン グ	A:知識の定着・確認	毎回の授業終了前に、小レポートを書いてもらいます。				工 夫 そ の 他 の	Moodleを活用します。										
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	発表・模擬授業の準備を行う(各2h)															
	事後学修	発表・模擬授業の成果と課題を文章にまとめる(各1h)															
教科書	指定しません。																
参考書	授業中に指示します。																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	発表	40%															
	討論参加状況	30%															
	課題レポート	30%															
注意事項	ガイダンスの際に注意事項を説明します。																
備考																	
リンク	URL																

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の实務 経験	高等学校における世界史・日本史授業の担当。医療系専門学校における医学史の授業担当。
実務経験を いかした教 育内容	高等学校における教材を応用して本授業で活用する。体験談を交えた効果的な授業方法を説明する。